

行政視察等報告書

令和元年5月13日

米子市議会議長様

会派名 政英会

代表者氏名 尾 沢 三 夫

提出者氏名 三 嶋 秀 文



下記のとおり報告します。

記

項 目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参 加 者	稲田 清、奥岩浩基、尾沢三夫、門脇一男、田村謙介、 戸田隆次、三嶋秀文、渡辺穰爾
期 日	平成31年4月23日から平成31年4月25日まで
〔概 要〕(年月日・場所・内容) 4月23日 熊本県八代市 「創業支援事業について」 4月24日 宮崎県日南市 「油津商店街における起業支援型テナントミ ックスとIT企業誘致について」 4月25日 宮崎県都城市 「マイナンバーカード交付率向上の取り組み について」	
〔所 感〕 別紙のとおり	
経 費	旅費総額 612,420円

八代市の創業支援施策について

本市においては、現在、中小企業振興条例の制定（または、中小企業振興ビジョンの策定）を検討中であるが、可能な限り実効性のある条例等にしていくためには、総合政策部等、他部署と連携しながら制定に向けた準備を進めていく必要がある。また、かかる条例等に基づき、経済の浮揚と雇用・交流人口によるにぎわいを創出していくためには、働く場の確保がその土台として必要であることから、創業支援施策も重要である。そこで、市内の創業支援に力を入れている熊本県八代市にて行政視察を行った。

八代市が、創業支援に向けての施策展開を行うに当たってまず取り掛かったことは、産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」を県内及び市内の支援機関と共同で策定することであった。そして、この計画は、平成27年5月に国からの認定を受け、かかる計画に基づき、各機関（市、商工会議所、商工会、くまもと産業支援財団等）の取り組みの可視化を図るとともに、創業前から創業後の各段階に応じた一貫した支援体制の整理を行い、創業支援者のワンストップ窓口を設置し、的確な支援窓口にコーディネートすることと併せて、これまでの取り組みを発展させることにより、年間52件の創業を目指しての取り組みを開始した。その結果であるが、年間目標数：創業支援者件数315件、創業者数52件に対し、平成28年実績が、創業支援者件数104件、創業支援者数69件、平成29年度が、創業支援者件数138件、創業支援者数68件と着実に成果を上げている。特徴としては、ビジネスモデルの構築、資金調達など創業に必要となる要素に応じて、関係機関の強みを生かした適切な創業支援の提供が行われていることにあった。

また、創業支援事業計画の策定によるメリットについてであるが、登録免許税の軽減、無担保、第三者保証人なしの創業関連保証枠の拡充、創業や事業承継に関する補助金（国の補助制度）等があり、特に、県の施策と連動した信用保証料の全額補給がこの計画の策定による大きなメリットであるとのことであった。

八代市の経済戦略のスタンスとしては、まずは、地元の中小・小規模事業者の支援に重きを置きたいということであった。地方自治体の施策として企業誘致がクローズアップされがちではあるが、本市においても地元の中小・小規模事業者の支援策を中小企業振興条例の制定等と絡めながら着実に進めていく必要があるものと感じた。

日南市行政視察報告

1. 視察日時 平成31年4月24日 午前10時40分より午前12時まで
2. 視察場所 宮崎日南市 油津商店街Y o t t e n
3. 視察項目 「油津商店街における起業支援型テナントミックスとIT企業誘致について」
4. 日南市の人口 54,090人(米子市149,313人の約1/3)
5. 面積 536.11平方キロメートル(米子市132.42平方キロメートルの約2.5倍)
6. 油津商店街の動きとIT企業進出への取組
H25年度 民間人登用により4か年計画で20店舗誘致目標
H28年度 店舗誘致29件、IT企業10社
商店街歩行者通行量 約2.5倍
7. 所感・考察

宮崎県日南市は古くより飴肥杉に代表される林業やマグロ漁を代表とした漁港の町として交流が活発であり物流・商業の中心地として栄えてきた。しかしながら、同市の商店街は昭和40年代をピークに店舗数や歩行者通行量が減少、さらには近隣市への買い物客の流出により衰退が進み厳しい環境が続いてきた。

市としては内需の循環が重要であると捉え、消費循環の促進と魅力ある商店街の復活を目指し、平成25年に333人の公募の中からテナントミックスサポートマネージャーを選出、月報酬90万円は市長報酬よりも高いと全国的に話題となった。明確な目標値を掲げ4年間で20店舗の誘致の達成指標に向けて計画がスタートした。テナントミックスサポートマネージャーについては、いわゆる民間委託ではなく、市の取組の足りない部分を補完する意味でより強力な計画の遂行を目標とした。他にはない公民連携を目指し、当初は現状把握や信頼関係づくりに向けて、市の担当者・地元のまちづくりの会社・商工会議所等が中心となり毎週、毎月のミーティングを行い、そこから商店街振興会、市内の中高生、日南市出身者を構成メンバーとした「まちの応援団」が創出された。また、地元出身の大学生が卒論で油津商店街の研究を行い、地元商店街に対して市や外部任せで努力が足りないのではと厳しい指摘があったことをきっかけに商店街の人々の活動も活発になり商店街のリブランディングを進めた。また、地元出身の若者らが株式会社油津応援団を立ち上げ商店街再生や交流イベント等が増加した。さらには市として「日本一組みやすい自治体」を目指し、

企業と地元のWin-Winの関係を築くマーケティング戦略を行い、市内の求職者が事務職を希望しているが求人数が少ない現実と都市部のIT企業が人手不足である所に着目し、IT企業の誘致に取り組んだ結果、4カ年で10社の誘致の実績を残した。また、「若者がチャレンジするまち 組みやすい自治体」というブランディングが企業を呼び込む好循環を生み出し、商店街の上下水道やネット状況等インフラについても既に準備が整っていた事も企業進出へプラスに働いていた。

油津市の取組は公民連携による地元住民と都市部交流の好循環による単なる「商店街再生」ではなく、時代のニーズにあった新しいコミュニティを形成し、強いリーダーシップと行動力により「衰退した商店街」が「若者がチャレンジする新しいまち」に生まれ変わった。その取組については「地方創生の鍵である」と昨年12月に総理のスピーチの中でも紹介されている。その中で、企業誘致に限らず、広島東洋カープのキャンプを活かした油津駅のカープ駅の取組や昨年のFAAVO賞を受賞した女子高校生のアイデアを大人がサポートし形にした商店街のアーケード跡をカラフル傘で彩った催しは市の予算ではなく、クラウドファンディングを利用した取組であり、油津ファンの多さや注目度が伺えた。

一連の取組に対して、外部登用者を含む日南市の担当者、市長、商店街、企業、地元住民、地元出身者の相互協力が商店街を新しいまちへ生まれ変わらせた事は、2核1モールを基本構造とした米子市中心市街地活性化基本計画とする米子市においても非常に参考にすべきものであると感じた。

都城市行政視察報告書

【1】視察項目

マイナンバーカード普及に係る各種取組について

【2】視察先

都城市役所（宮崎県都城市姫城町6-2 1）

【3】事業の経緯、取組、考察

平成27年10月、マイナンバー法施行！

平成27年11月から住民票を有する全ての人に、一人一人異なる12桁の番号(個人番号・マイナンバー)が通知される。また、通知カードと一緒に個人番号カード(マイナンバーカード)の交付申請書も郵送される。

☆マイナンバーカード交付枚数率(平成30年12月現在)

全 国 12.2%

都城市 27.7%

米子市 9.3%

+++++

都城市では、全国的にマイナンバーカードの交付率が低迷する中、当初からタブレットを活用した申請補助(都城方式)を導入し、制度やカードへの不安解消、無料の写真撮影などを実施し、普及促進を図ってきた。これは、全国で初めての試みであり、マイナンバーカードの交付率向上に大いに貢献をしている。

そして、マイナンバー分室(地下)に8窓口を設置し、混乱や遅滞がないように関係事務を遂行し、5年後、10年後を見据えた対応も想定している。

更に、交付率アップを目指し、巡回を中心とした広報展開で「巡回型申請補助」による住民サービスの向上を図り、公民館、商業施設、企業等へ、計265回(平成31年3月末)出向いての申請受付を行っている。

都城市の交付率が市区別全国1位であることも納得できる。

都城市はマイナンバーカードを活用して民間等とも積極的に連携を図っている。例を挙げれば「温泉等ポイント2倍サービス」、「定期預金特別金利」、「子育て応援ローンの金利優遇」、「学生を対象とした学校での申請・交付窓口開設」、「コンビニ交付サービス」等々。

また、市役所窓口において「らくらく窓口証明書交付サービス」というコンビニ交付と同様の各種証明書の発行を行っている。

これくらいは米子市でも取り入れるべきであろうと強く感じた。

この度の視察で最も感銘を受けたのは、マイナンバーカードを活用することにより「母子健康情報サービス」、児童手当、保育に関する「マイナポータル」、「お

くやみ窓口構築事業」という、市民の精神的負担、事務負担が大きい手続き等を市がサポートをしているという点である。

素晴らしい！の一言に尽きる。

都城市は国に対しても様々な提案を行っている。

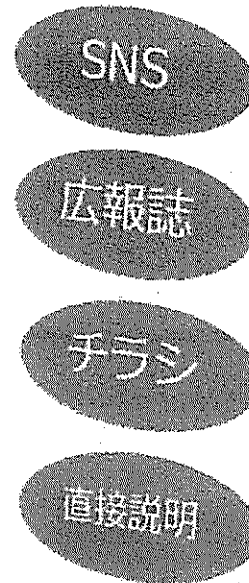
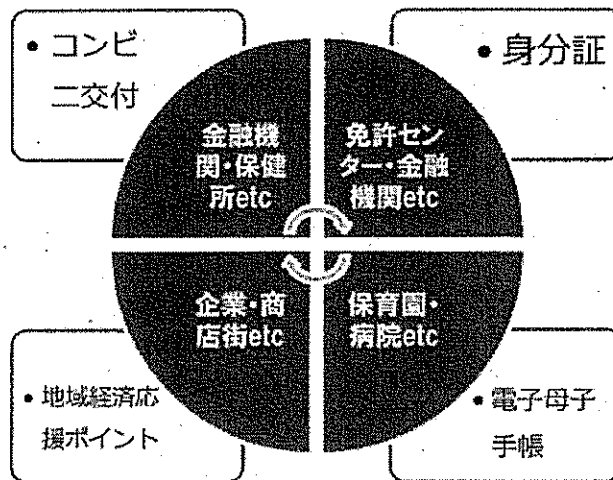
代表的なものは「地域経済応援ポイント都城市提案」である。これは、マイナンバーカードを活用して、新たな魅力的な生活、地域の消費拡大サイクルの構築を目指す取り組みで、地域の活性化にも寄与するもので、ふるさと納税の基盤の活用も可能である。

都城市のマイナンバーカードの交付枚数率は米子市の約3倍である。この度の視察でこのことは大いに納得できる。

今後は米子市においても、その本気度が試されることとなるだろう。交付率をアップさせるには、まず多角的な広報を考えるべきである。それにはこの都城市の取り組みを大いに参考にすべきである。

政英会としても、米子市に対し、様々な提案を行っていきたいと考えている。

■ 申請補助の広報（最重要） 関係機関と連携した広報の展開



対象者をイメージし、きめ細やかな広報を意識！付加価値向上！

行政視察行程 (会派：政英会 福田 清、奥岩浩基、尾沢三夫、門脇一男、田村謙介、戸田隆次、三嶋秀文、渡辺権爾 8名)

月 日	行 程	宿 泊 先
4 / 2 3 (火)	<p>7:23 米子駅 == (伯耆大山駅) == 岡山駅 == 新八代駅 JR 特急やくも 6号 JR 新幹線さくら 549号・鹿兒島中央行</p> <p>9:38 10:08 12:45</p> <p>八代市行政視察 午後2時00分から午後4時00分まで 【議会事務局】 ☎：0965-32-5984</p> <p>【調査項目】 創業支援事業について</p> <p>17:11 新八代駅 == 鹿兒島中央駅 == 宮崎駅 JR 新幹線さくら 413号・鹿兒島中央行 JR 特急きりしま 18号・宮崎行</p>	<p>J R九州ホテル 宮崎 ☎0985-29-8000</p>
4 / 2 4 (水)	<p>9:08 宮崎駅 == 油津駅 JR 日南線・油津行</p> <p>10:29 油津駅 == 都城駅 JR 日南線・西都城行</p> <p>14:11 14:48 15:57</p> <p>日南市行政視察 午前10時40分から午後0時00分まで 【議会事務局】 ☎：0987-31-1142</p> <p>【調査項目】 油津商店街における起業支援型テナントミックスとIT企業誘致について</p>	<p>ベッセルホテル 都城 ☎0986-46-7777</p>
4 / 2 5 (木)	<p>12:57 油津駅 == 南宮崎駅 == 都城駅 JR 日南線・南宮崎行 JR 日豊本線・西都城行</p> <p>14:11 14:48 15:57</p> <p>都城市行政視察 午前9時00分から午前10時30分まで 【議会事務局】 ☎：0986-23-7869</p> <p>【調査項目】 マイナンバーカード交付率向上の取り組みについて</p> <p>11:10 西都城駅 == 鹿兒島中央駅 == 岡山駅 == 米子駅 JR 特急きりしま 9号・鹿兒島中央行 JR 新幹線さくら 556号・新大阪行 JR 特急やくも 21号</p>	

旅費計算表

平成31年4月23日～平成31年4月25日(2泊3日)

政英会 会派行政視察

熊本県八代市・宮崎県日南市・宮崎県都城市

月日	区間	鉄道路線名	区間キロ数	目的地までのキロ数	運賃	グリーン	急行	行料金		泊料
								別	新幹線	
4/23	米子～岡山	JR			11,920		特	1,340	議員1,500円 随行1,100円	甲 14,800円 乙 13,300円
(火)	～新八代	JR							7,540	
	新八代～鹿児島中央	JR							3,000	
	～宮崎	JR						1,750		
4/24	宮崎～油津	JR							1,500	
(水)	油津～南宮崎	JR		11,920						7,900
	～都城	JR								
4/25	西都城～鹿児島中央	JR						1,340	1,500	
(木)	～岡山	JR						9,480		
	～米子	JR						1,340		
計	議員旅費			75,330	23,840	0	5,770	20,020	4,500	0
随出	席費			0						

岡田議員欠席) 渡辺(岡田議員欠席) 戸田隆次、三嶋秀文、門脇一男、田村謙介、奥岩浩基、尾沢三夫、稲田清

議員旅費	75,330 × 8名 =	602,640 円
会場費	1,240 × 1式 =	1,240 円 (日南市)
タクシー	1,300 × 2台 =	2,600 円 (都城駅→ホテル)
お土産代	1,620 × 1式 =	1,620 円 (八代市、日南市、都城市)
取扱手数料	540 × 8名 =	4,320 円
旅費総額		612,420 円